

「投資信託及び投資法人に関する法律」が一部改正され、2014年12月1日以降に計算期間(または作成対象期間)の末日を迎えるファンドより運用報告書が「交付運用報告書」と「運用報告書(全体版)」に二段階化されることとなりました。「運用報告書(全体版)」の入手方法につきましては、本表紙の<閲覧方法>をご覧ください。

イーストスプリング・アジア・インカム・プラス 【愛称:アジアドリーム】

追加型投信／海外／資産複合

第89期(決算日 2014年9月16日)
第90期(決算日 2014年10月15日)
第91期(決算日 2014年11月17日)
第92期(決算日 2014年12月15日)
第93期(決算日 2015年1月15日)
第94期(決算日 2015年2月16日)

作成対象期間(2014年8月16日～2015年2月16日)

第94期末(2015年2月16日)	
基準価額	9,679円
純資産総額	312百万円
第89期～第94期 (2014年8月16日～2015年2月16日)	
騰落率	12.2%
分配金合計	90円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・アジア・インカム・プラス」は、2015年2月16日に第94期の決算を行いました。

当ファンドは、主として日本を除くアジアの債券および株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当作成期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

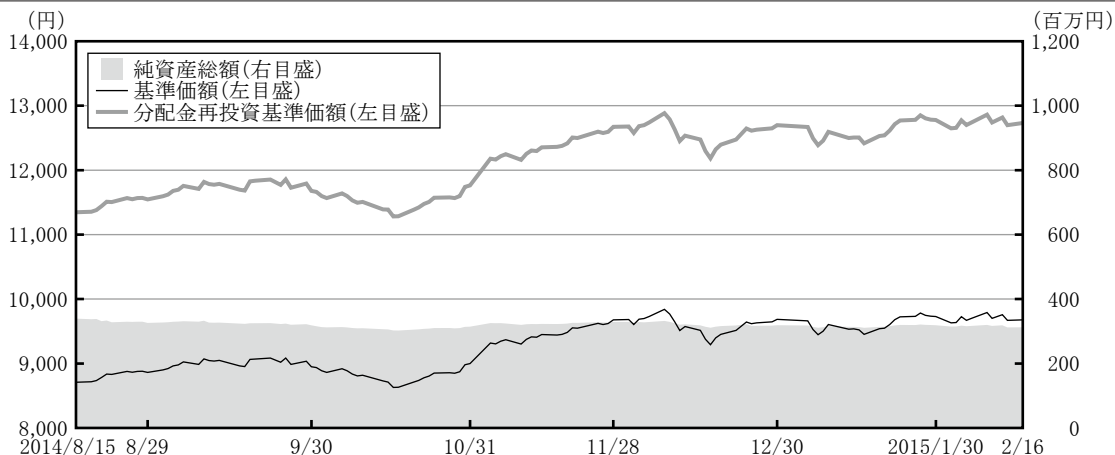
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について(第89期～第94期:2014年8月16日から2015年2月16日まで)



第89期首	8,711円
第94期末	9,679円(既払分配金90円)
騰落率	12.2%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

アジア株式市場は作成期初から2014年9月上旬まで、好調な米国経済、中国での景気持ち直しや政策期待を背景に上昇しました。一時米国の早期利上げ観測、中国の景気の減速懸念などから軟調な推移となったものの、10月末の日銀の大規模な量的緩和策により、為替市場でアジア通貨が上昇したことから12月上旬にかけて基準価額は上昇しました。その後、アジア株式、債券ともに上昇傾向となりましたが、為替市場で円安傾向が一服したため、基準価額は作成期末まで大きな変動なく推移しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第89期～第94期 2014/8/16 ～2015/2/16		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	63円	0.673%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、9,317円です。
(投信会社)	(25)	(0.275)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(36)	(0.382)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	16	0.167	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(10)	(0.107)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.012)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(4)	(0.041)	目論見書及び運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	(1)	(0.007)	信託管理事務にかかる手数料
合計	79	0.840	

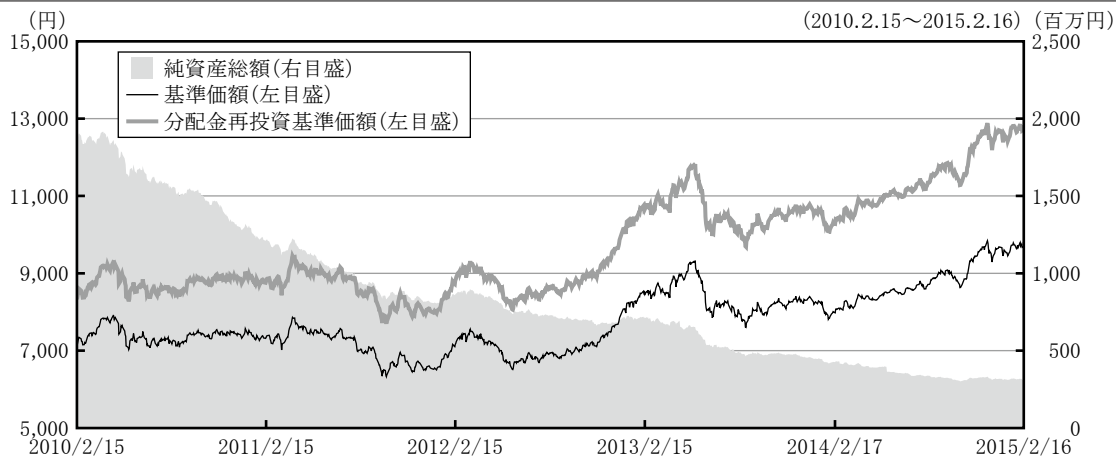
(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

	2010/2/15 期首	2011/2/15 決算日	2012/2/15 決算日	2013/2/15 決算日	2014/2/17 決算日	2015/2/16 決算日
基準価額 (円)	7,192	7,341	7,158	8,452	7,976	9,679
期間分配金合計(税込み) (円)	—	180	180	180	180	180
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	4.6	0.0	21.0	△3.6	23.8
純資産総額 (百万円)	1,866	1,214	863	710	426	312

投資環境について

○海外株式市況

アジア株式市場は、作成期初から2014年10月中旬にかけて、米国の早期利上げや中国の景気減速への懸念、香港の民主化要求デモ、国際通貨基金(IMF)による世界経済見通しの下方修正などの悪材料を背景に投資家のリスク許容度が低下し、下落傾向となりました。11月下旬にかけては、日銀の量的金融緩和や中国の利下げを受けて株価は一旦持ち直しましたが、12月に入り原油価格の大幅下落を受けてリスク回避姿勢が強まり、再度下落しました。その後作成期末にかけて、欧州やインド、シンガポールの金融緩和を追い風に株価は上昇しました。

○海外債券市況

アジア債券市場は、当作成期を通じて堅調な動き(利回りは低下)となりました。2014年年末には原油価格の大幅下落を受けてリスク回避姿勢が強まり、債券価格は一時的に下落(利回りは上昇)する局面も見られましたが、2015年1月以降、欧州の量的金融緩和やアジア各国において緩和的な政策が行われたことから堅調に推移(利回りは低下)しました。

○為替市況

アジアの為替市場は、2014年10月末の日銀の追加緩和決定後は強力な円の先安観測から対円で堅調となりました。特にフィリピンペソは継続的な投資資金の流入を背景に堅調な動きとなりました。一方、マレーシアリングgitは世界的な原油価格の大幅下落を背景に軟調に推移し、対円での上昇率は最も小幅となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは基本配分に従い、「イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)」を通じてアジア債券に7割程度、「イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド(以下「アジアン・エクイティ」と言うことがあります。))を通じてアジア株式に3割程度の投資を行いました。

○アジアン・エクイティ

当作成期の投資行動としては、ポートフォリオの特性を大きく変更するような銘柄の入替えは行いませんでした。国・地域別のパフォーマンスでは、海外投資家からの旺盛な投資資金の流入がみられたフィリピンの保有がプラスとなった一方で、内需低迷から上値の重い展開となったタイの保有がマイナスに作用しました。

○イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)

イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジアの政府、政府機関及び国際機関の発行する現地通貨建債券に投資を行い、安定的な利子収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行いました。

当作成期は、パフォーマンスにおいてすべての国の債券がプラスとなり、中でもインドとインドネシアの債券の保有がプラスに大きく寄与しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、経費控除後の配当等収益・基準価額水準等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(1万口当たり、税引前)

項目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
	2014年8月16日 ～2014年9月16日	2014年9月17日 ～2014年10月15日	2014年10月16日 ～2014年11月17日	2014年11月18日 ～2014年12月15日	2014年12月16日 ～2015年1月15日	2015年1月16日 ～2015年2月16日
当期分配金 (円)	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率) (%)	0.167	0.172	0.159	0.157	0.157	0.155
当期の収益 (円)	15	11	15	15	15	15
当期の収益以外 (円)	—	3	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	169	166	173	180	181	188

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○当ファンド

今後の運用方針につきましては、原則として基本配分に従い、「イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)」を通じてアジア債券に7割程度、「アジアン・エクイティ」を通じてアジア株式に3割程度の投資を行っていく予定です。

○アジアン・エクイティ

世界経済は一部に弱さを抱えながらも全体として回復基調にあります。米国など先進国がけん引する世界経済の景気回復が見込まれる中、アジア地域でも輸出産業を中心に業績改善への期待が高まっています。米国経済は今後も雇用や所得環境の改善に支えられ、回復基調が持続するものと期待されますが、金融緩和政策の出口戦略を受けた国際金融市場での影響が注目されます。また、デフレ傾向が強まる欧州や中国の景気回復動向、さらには資源価格の下落とそれを背景とした新興国経済の影響などにも注視していきます。

○イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)

引き続きアジアの債券市場には強気の見通しを維持しています。日本、欧州の金融緩和政策や中国の景気回復の兆しなど、アジア市場を取巻く環境は改善傾向にあります。原油価格の下落による世界的なリスク回避姿勢の高まりや、米国の金融政策などには引き続き注意が必要であると考えています。また、インドとインドネシアの債券については、インフレ率低下の期待から現状の保有比率を維持する方針です。

お知らせ

○運用報告書(全体版)の交付に代えて、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法による提供を可能とするため、信託約款に所要の変更を行いました。

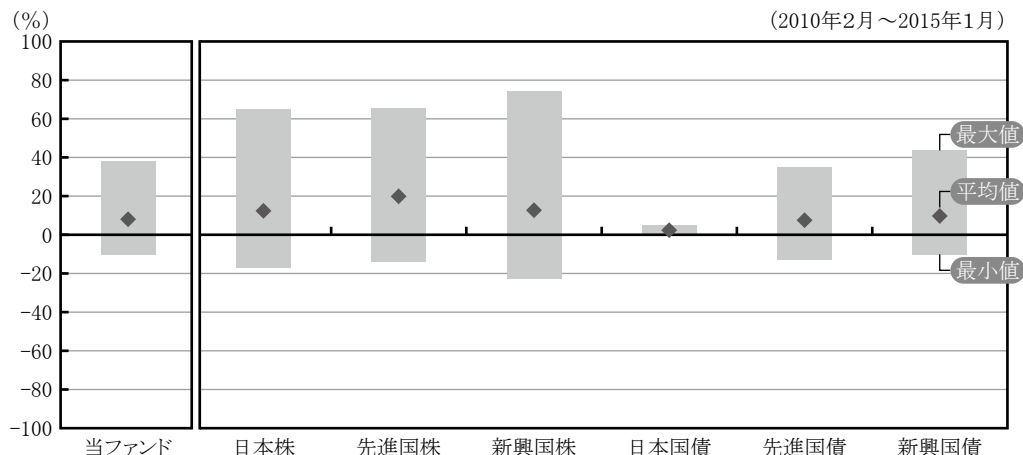
(変更日:2014年12月1日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	約10年間(2007年3月30日から2017年3月15日まで)
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド」(米ドル建て)のクラスJ投資証券および国内籍証券投資信託「イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)」の受益証券(振替受益権を含みませぬ。)を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎決算時(毎月15日(休業日の場合は翌営業日))に、主に配当等収益から安定的に分配を行うことを目指します。また、売買益等がある場合は、これを付加して分配を行う場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	8.0	12.3	19.9	12.7	2.4	7.5	9.7
最大値	38.2	65.0	65.6	74.3	4.5	34.9	43.7
最小値	-10.2	-17.0	-13.7	-22.9	0.4	-12.7	-10.1

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2010年2月から2015年1月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

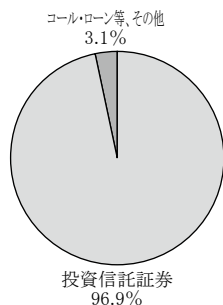
○組入ファンド等

(組入銘柄数:2銘柄)

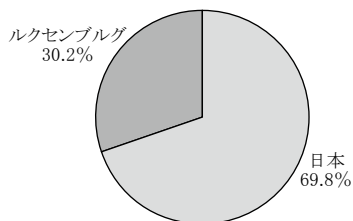
ファンド名	第94期末 2015年2月16日
イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)	66.7%
イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド	30.2%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

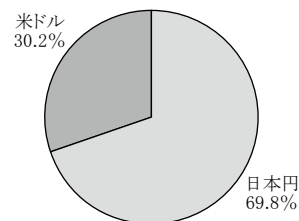
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分の「その他」には、当ファンドで保有する余裕資金や組入ファンドの購入・売却による外貨等を含みます。

純資産等

項目	第89期末 2014年9月16日	第90期末 2014年10月15日	第91期末 2014年11月17日	第92期末 2014年12月15日	第93期末 2015年1月15日	第94期末 2015年2月16日
純資産総額	323,755,758円	305,653,810円	322,404,415円	318,288,281円	312,888,400円	312,255,453円
受益権総口数	361,155,487口	350,809,398口	341,464,804口	334,537,483口	328,544,461口	322,596,118口
1万口当たり基準価額	8,964円	8,713円	9,442円	9,514円	9,523円	9,679円

* 当作成期中(第89期～第94期)において追加設定元本額は792,782円、一部解約元本額は67,494,299円です。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド

(計算期間 2013年1月1日～2013年12月31日)

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移



○組入上位10銘柄

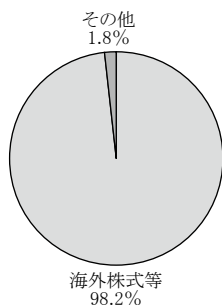
(組入銘柄数:72銘柄)

銘柄名	業種	国・地域	比率
Samsung Electronics Co Ltd	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	韓国	7.3%
Taiwan Semiconductor Manufacturing	半導体・半導体製造装置	台湾	3.8%
Cheung Kong Holdings Ltd	不動産	香港	3.2%
DBS Group Holdings Ltd	銀行	シンガポール	3.0%
Hyundai Motor Co	自動車・自動車部品	韓国	2.8%
China Merchants Bank	銀行	香港	2.8%
HON HAI Precision Industry	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	台湾	2.7%
China Mobile Ltd	電気通信サービス	香港	2.6%
China Construction Bank	銀行	香港	2.5%
Hana Financial Group	銀行	韓国	2.5%

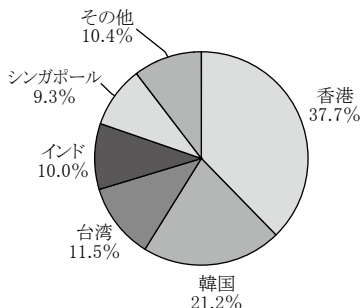
○1万口当たりの費用明細

イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンドのAnnual Report (監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示がされていないため、記載できません。

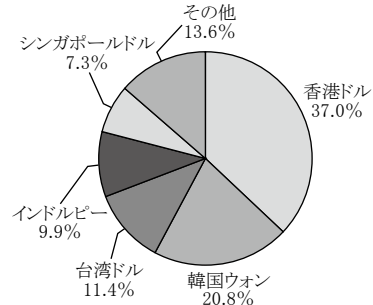
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額(1口当たり純資産価格)の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は、組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

(注4) 組入上位10銘柄、国別配分の国・地域は、株式が上場されている主要な金融商品取引所の所在国・地域を記載しています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)

(計算期間 2014年8月12日～2015年2月12日)

○基準価額の推移



○組入上位10銘柄

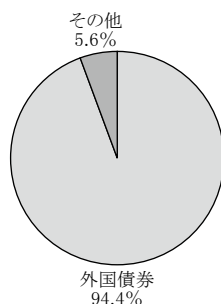
(組入銘柄数:82銘柄)

銘柄名	種別	国・地域	比率
PHILIPPINE	国債	フィリピン	3.4%
INDIA GOVT	国債	インド	3.2%
PHILIPPINE	国債	フィリピン	3.0%
INDIA GOVT	国債	インド	2.7%
INDIA GOVT	国債	インド	2.4%
KOREA TRSY	国債	韓国	2.0%
KOREA TRSY	国債	韓国	1.9%
INDONESIA	国債	インドネシア	1.9%
MALAYSIAN	国債	マレーシア	1.9%
INDONESIA	国債	インドネシア	1.9%

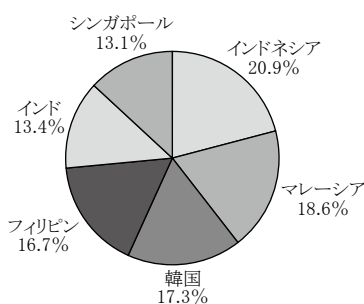
○1万口当たりの費用明細

項目	金額
(a) 信託報酬	14円
(投信会社)	(13)
(販売会社)	(0)
(受託会社)	(1)
(b) その他費用	15
(保管費用)	(10)
(監査費用)	(2)
(その他)	(4)
合計	29

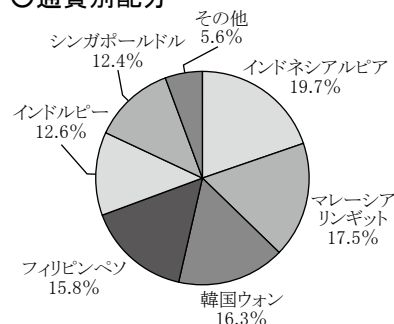
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は、組入ファンドが投資対象とするマザーファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- 東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPIは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。
- シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。